

未来に羽ばたく 夢と希望のある 健康な郷土^{ま ち}

令和 7 年度版

山ノ内町 町勢要覧

長野県山ノ内町

人口密度
(令和7年4月1日)



1km²に 42.1 人

世帯人員
(令和7年4月1日)



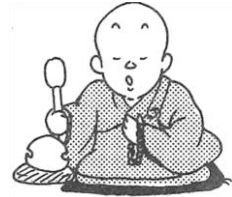
1世帯 2.2 人

出生
(令和6年度)



12.2 日に1人

死亡
(令和6年度)



2.4 日に1人

転入
(令和6年度)
やまのうち



1日あたり 1.7 人

転出
(令和6年度)
やまのうち



1日あたり 1.5 人

町職員
(令和7年4月1日)



62.8 人に1人

医師
(令和7年4月1日)



2,796 人に1人

消防職員
(令和7年4月1日)



286.8 人に1人

救急出動
(令和6年)



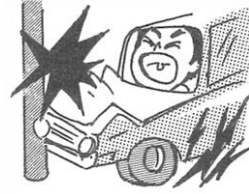
1日に 3.0 回

火災
(令和6年)



火災発生なし

交通事故
(令和6年)



26.1 日に1件

ごみ処理
(令和6年度)



1人1日あたり 1.2 kg

水道
(令和6年度)



1人1日あたり 338 ℓ

町税
(令和6年度決算)



1人あたり 14 万 9 千円

町の予算
(令和6年度決算)

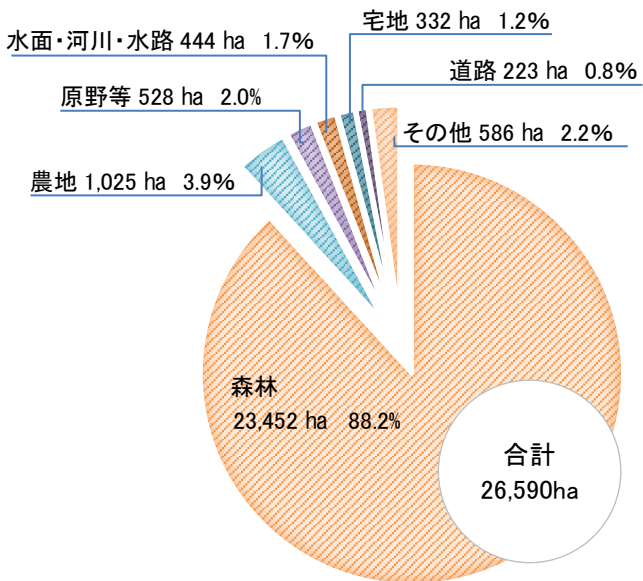


1人あたり 68 万 4 千円

○位置

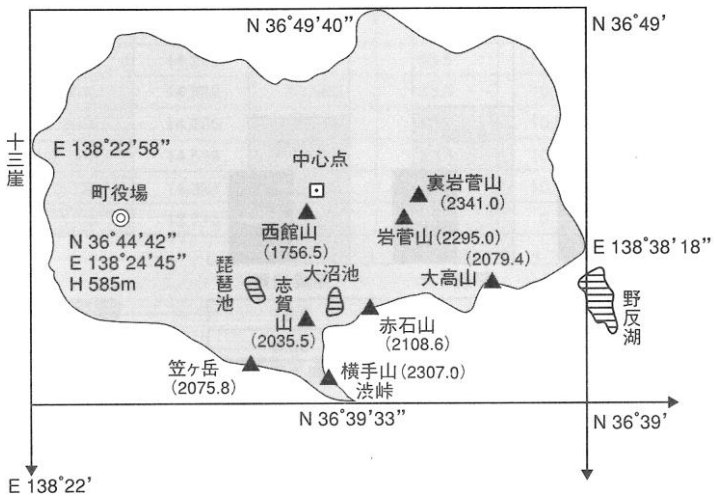


○土地の利用区分

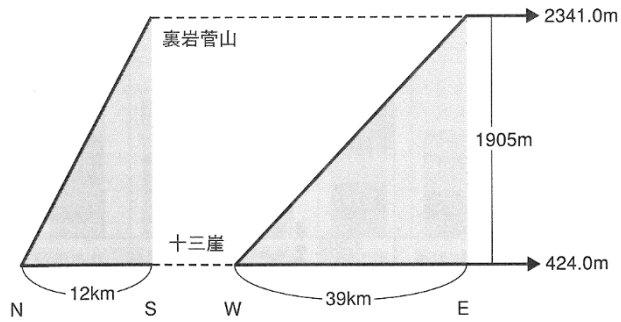


資料: 第4次国土利用計画

○広がり、形状



○空間的広がり



○気象概況

観測地点: 山ノ内消防署

	気温(℃)			湿度 (%)		風速(m/s)			降水量(mm)		降雪 (cm)	天気の日数(毎日 9 時)			
	平均	最高	最低	平均	最小	平均	最多風向	最大風速	総量	最大日量	積雪最深	晴	曇	雨	雪
平成 12 年	11.4	36.9	-9.1	71	16	2.4	SE	25.2	877	52.5	45	221	109	18	18
17 年	10.9	34.0	-9.9	71.9	14.7	2.3	SE	25.2	981	62.0	96	214	94	21	36
22 年	14.3	37.4	-7.3	60.2	13.1	2.3	SE	11.8	1192	38.5	46	198	110	38	19
27 年	10.9	34.9	-7.9	82.3	13.1	0.5	NW	15.7	825	42.5	90	195	130	25	15
令和 2 年	12.2	35.8	-9.5	85.4	19.7	0.5	NW	14.4	921.5	41.5	36	191	127	25	23
5 年	12.5	34.2	-11.1	83.7	16.3	0.5	SE	13.0	763	49.0	40	216	107	25	17
6 年	12.2	34.9	-8.5	79.9	0.1	0.5	NW	14.5	1153	63.5	45	194	116	30	26

資料: 消防課

人口

○人口動態（各年度 3 月 31 日時点）

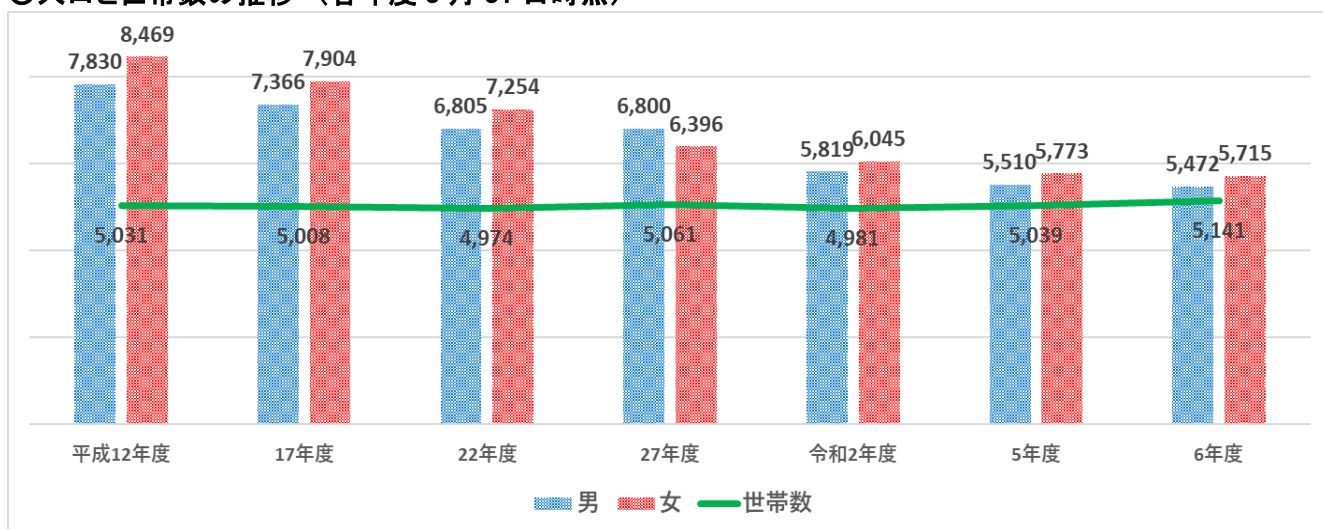
（人、％）

	人口	高齢者数 (65 歳以上)	高齢化率	自然動態				社会動態				
				出生数	死亡数	増減数	増減率	転入	転出	その他	増減数	増減率
平成 12 年	16,299	4,216	25.87	103	170	△67	△0.41	413	566	△3	△156	△0.96
17 年	15,253	4,494	29.46	86	159	△73	△0.48	316	464	0	△148	△0.97
22 年	14,059	4,587	32.65	70	200	△130	△0.92	284	473	△4	△185	△1.32
27 年	13,196	4,932	37.37	65	179	△114	△1.08	447	475	△10	△38	△0.28
令和 2 年	11,864	4,887	41.19	44	193	△149	△1.25	322	446	△24	△148	△1.24
5 年	11,283	4,726	41.89	45	218	△173	△1.53	560	507	△13	40	0.35
6 年	11,187	5,038	45.03	30	155	△125	△1.12	605	540	△14	51	0.46

※平成 27 年度から外国人を含む

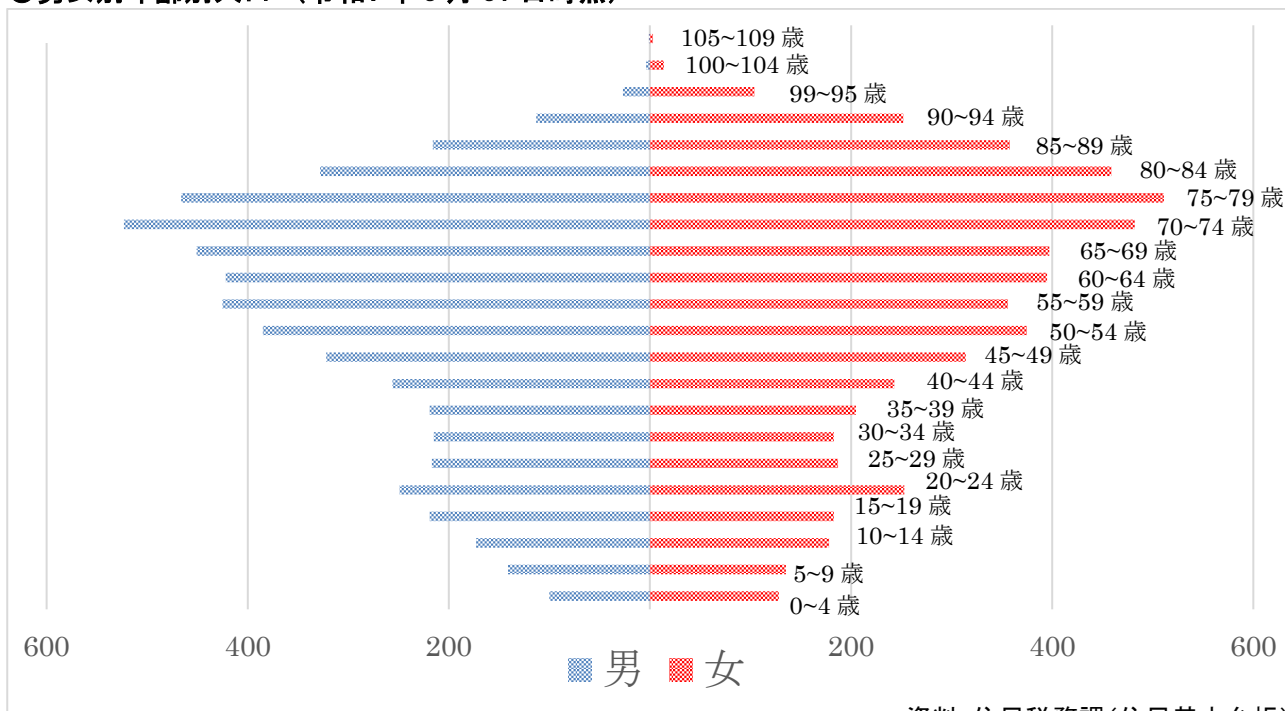
資料：住民税務課（住民基本台帳）

○人口と世帯数の推移（各年度 3 月 31 日時点）



資料：住民税務課（住民基本台帳）

○男女別年齢別人口（令和7年 3 月 31 日時点）



資料：住民税務課（住民基本台帳）

産業

○労働力人口の状況

(人、%)

	15才以上 人口 (A)	労働人口						完全 失業者 (C)	完全 失業率 (C/B)	労働率 (B/A)
		総数 (B)	総人口に 対する割合							
				就業者	第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業			
平成7年	14,327	10,302	60.8	10,081	2,333	2,029	5,714	221	2.1	71.9
12年	13,713	9,510	59.8	9,188	2,155	1,791	5,237	322	3.4	69.4
17年	12,881	8,854	60.2	8,428	2,051	1,466	4,879	426	4.8	68.7
22年	12,161	7,984	58.4	7,587	1,883	1,304	4,326	397	5.0	65.6
27年	11,190	7,323	58.9	7,097	1,772	1,192	4,096	226	3.1	65.4
令和2年	10,342	6,599	58.1	6,387	1,574	1,086	3,629	212	3.2	63.8

資料: 令和2年国勢調査

○農家数・農家人口及び経営耕地面積

(戸、人、ha)

	総農家数	自給的 農家数	販売 農家数				経営耕地面積			
				専業 農家	1種 兼業	2種 兼業	総面積	田	畑	樹園地
平成2年	1,401	297	1,104	283	293	528	943	171	115	657
7年	1,285	306	979	255	324	400	863	142	110	611
12年	1,152	291	861	220	240	401	769	117	90	562
17年	1,087	337	750	220	250	280	695	75	78	542
22年	1,028	353	675	263	151	261	661	67	60	534
27年	925	326	599	269	117	213	610	63	58	488
令和2年	843	320	523	-	-	-	600	47	90	463

資料: 令和2年農林業センサス

○産業分類別事業所及び従業者数の概要

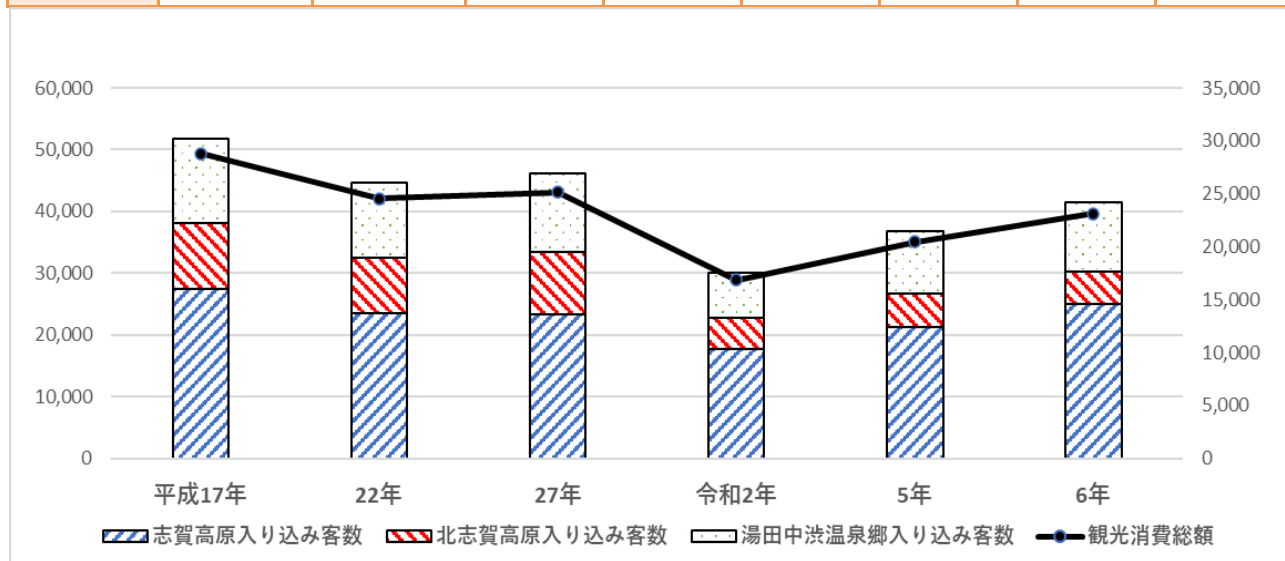
産業分類	事業所数	従業者数	産業分類	事業所数	従業者数
A 農業, 林業	17	185	K 不動産業, 物品賃貸業	23	54
B 漁業	1	8	L 学術研究, 専門・技術サービス業	8	21
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-	M 宿泊業, 飲食サービス業	252	1,608
D 建設業	81	297	N 生活関連サービス業, 娯楽業	58	265
E 製造業	19	173	O 教育, 学習支援業	17	124
F 電気・ガス・熱供給・水道業	4	12	P 医療, 福祉	27	459
G 情報通信業	-	-	Q 複合サービス事業	7	64
H 運輸業, 郵便業	21	371	R サービス業(他に分類されないもの)	36	120
I 卸売業, 小売業	111	442	S 公務(他に分類されるものを除く)	6	377
J 金融業, 保険業	4	38			

資料: 令和3年経済センサス-活動調査

○観光入り込み客数及び観光消費額の推移 資料:経済振興課

(百人、百万円)

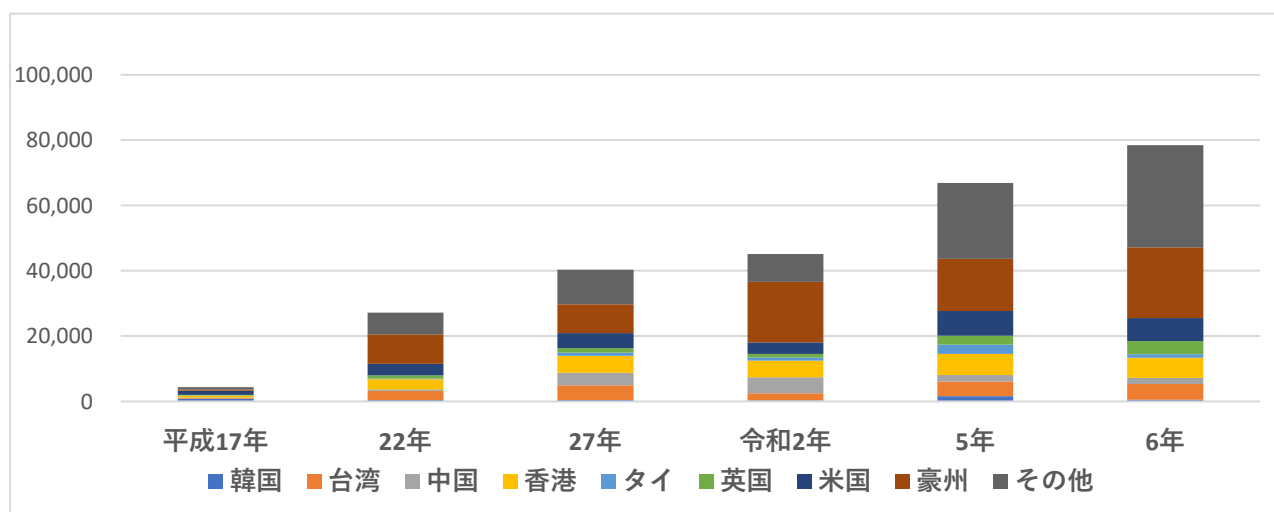
	入り込み 客数合計	観光消費 総額	志賀高原		北志賀高原		湯田中渋温泉郷	
			入り込み 客数	観光 消費額	入り込み 客数	観光 消費額	入り込み 客数	観光 消費額
平成 17 年	51,764	28,781	27,534	15,894	10,591	4,646	13,639	8,241
22 年	44,594	24,578	23,506	13,382	9,032	3,896	12,056	7,300
27 年	46,164	25,145	23,401	13,106	10,024	4,318	12,739	7,721
令和 2 年	30,020	16,840	17,756	10,266	5,064	2,238	7,200	4,336
5 年	36,779	20,477	21,217	11,977	5,517	2,394	10,045	6,106
6 年	41,515	23,126	24,999	13,999	5,233	2,275	11,283	6,852



○外国人宿泊者数の推移 資料:経済振興課

(人)

	韓国	台湾	中国	香港	タイ	英国	米国	豪州	その他	合計
平成 17 年	823	287	77	588	0	280	1,184	403	737	4,379
22 年	402	2,812	479	3,135	185	971	3,551	8,968	6,727	27,230
27 年	408	4,594	3,766	5,174	966	1,455	4,606	8,799	10,606	40,374
令和 2 年	314	2,185	4,917	5,115	976	1,020	3,604	18,471	8,525	45,134
5 年	1,601	4,562	1,885	6,477	2,880	2,721	7,551	15,984	23,277	66,938
6 年	575	4,744	1,877	6,166	1,085	4,059	7,073	21,625	31,242	78,446



生活基盤

○住宅形態と公営住宅の状況

(戸)

	総世帯数	一般世帯					町営住宅			町民住宅 鉄骨造 2階建	県営 住宅 総数
		総数	持ち家	公営 借家	民営 借家	その他	総数	木造	簡平		
平成7年	4,966	4,963	3,719	97	416	731	65	14	51	－	35
12年	4,800	4,798	3,824	98	332	544	65	14	51	－	35
17年	4,656	4,652	3,852	94	298	408	65	14	51	－	35
22年	4,666	4,660	3,857	90	342	371	65	14	51	3	35
27年	4,465	4,459	3,724	66	310	359	65	14	51	3	35
令和2年	4,419	4,415	3,688	53	324	350	65	14	51	3	35

資料: 令和2年国勢調査

資料: 建設水道課及び北信地域振興局

○道路現況

(令和7年4月1日現在(国県道は令和6年4月1日現在))

	実延長(m)	改良済延長(m)	改良率(%)	舗装延長(m)	舗装率(%)
国道	39,408	38,845	98.6	39,408	100
県道	43,340	20,053	46.3	42,756	98.7
町道	202,192	112,621	55.7	166,895	82.5
農道	97,735	－	－	74,832	76.5
林道	112,216	－	－	18,573	16.6

資料: 建設水道課、農林振興課

○上水道施設の状況

(令和7年3月31日現在)

	給水区域	給水人口(人)	年間給水量(m³)
山ノ内町上水道	東部・南部・西部全域	9,838	1,210,564
北部簡易水道	北部全域	898	115,960

資料: 建設水道課

○下水道事業及び農業集落排水事業接続状況

(令和7年3月31日現在)

	対象人口(人)	接続人口(人)	接続率(%)
公共下水道事業	4,873	4,696	96.4
特環下水道事業	2,837	2,602	91.7
農業集落排水事業	2,578	2,217	86.0

資料: 建設水道課

保健・衛生

○各種検診の受診状況

(人)

		平成 12 年	17 年	22 年	27 年	令和 2 年	5 年	6 年
基本健診	特定健診	2,491	2,341	1,935	1,712	1,171	1,232	1,240
	一般健診			657	584	441	765	755
胃検診		1,090	922	966	811	445	455	434
大腸検診		1,300	1,158	1,309	1,437	968	1,051	1,095
結核・肺がん検診		4,183	2,554	2,327	1,731	1,377	1,334	1,272
子宮がん検診		924	891	788	736	627	605	584
乳房検診		799	765	778	843	852	789	814
前立腺がん検診		－	373	331	370	232	302	278
肝炎ウイルス検診		－	317	65	22	10	10	16
骨検診		393	22	58	56	46	46	60
歯周疾患検診		－	－	－	－	34	51	93
4か月健診		99	90	75	65	47	45	37
7か月健診		93	96	81	73	44	43	43
1歳6か月健診		127	90	67	68	41	45	48
2歳児健診		122	87	87	74	65	46	45
3歳児健診		123	86	86	59	64	52	47

※特定健診は平成 20 年度から開始

資料：健康福祉課

○国民健康保険加入・給付状況

(世帯、人、%、件)

	被保険者 世帯数	被保険者 数	加入率		療養諸費			医療費(円)	
			世帯	人員	件数	費用額 (千円)	保険給付 額(千円)	1世帯当り	1人当り
平成 12 年	3,203	7,840	64	48	114,125	2,240,975	1,927,487	701,401	284,821
17 年	3,373	7,825	67	51	129,775	2,611,680	2,222,433	764,543	328,472
22 年	2,584	5,196	51	37	77,730	1,380,176	1,108,538	533,917	263,242
27 年	2,429	4,444	48	34	72,893	1,353,578	1,106,380	554,973	300,195
令和 2 年	2,080	3,522	42	30	58,108	1,190,763	993,494	565,683	331,596
5 年	1,954	3,145	39	28	55,658	1,171,088	989,109	594,461	366,767
6 年	1,956	3,082	38	28	53,219	1,055,430	880,429	549,990	343,788

※被保険者世帯数及び人数は各年度末現在。平成 22 年度以降は後期高齢者を除く

資料：健康福祉課

○ごみ処理量の状況

(t)

	総量	可燃ごみ	埋立てごみ	資源ごみ
平成 12 年	9,117	7,891	245	897
17 年	7,603	6,319	65	1,199
22 年	6,418	5,134	67	1,208
27 年	6,338	5,151	83	1,098
令和 2 年	4,961	3,900	74	957
5 年	4,923	3,951	53	919
6 年	4,950	3,995	54	901

資料：住民税務課

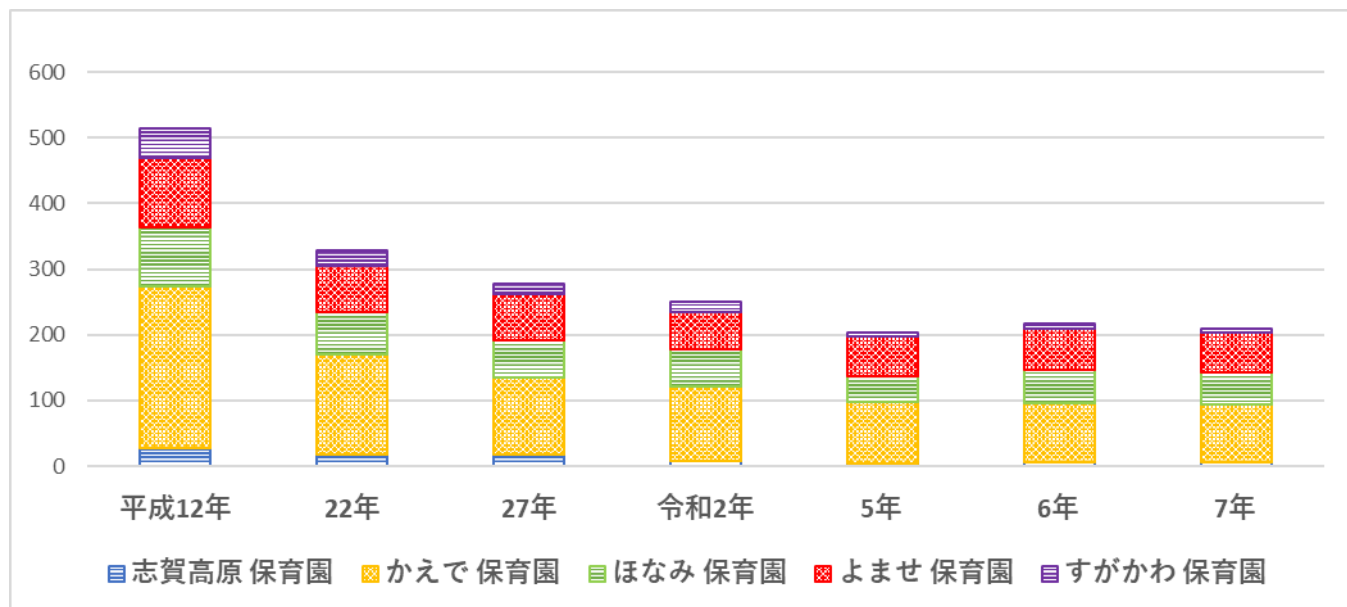
社会福祉

○保育施設の状況(令和7年4月1日現在) 資料:こども未来課

		志賀高原 保育園	かえで 保育園	ほなみ 保育園	よませ 保育園	すがかわ 保育園	計
敷地面積(㎡)		1,664	4,205	4,139	3,151	2,653	15,812
建物面積(㎡)		500	2,301	916	946	744	5,407
開設年度		昭和 49 年	平成 20 年	昭和 51 年	昭和 52 年	昭和 62 年	
定員		30	200	90	120	45	485
児童数	平成 12 年	27	(246)	91	105	45	514
	22 年	17	154	64	70	23	328
	27 年	17	117	57	71	16	278
	令和 2 年	8	113	56	57	16	250
	5 年	4	93	40	60	7	204
	6 年	6	90	50	64	7	217
	7 年	2	88	48	62	6	206

※広域入所児童含む

※かえで保育園児童数の()児童数は、統合前の各保育園の児童数の合計



○保育所入所児童数の推移(令和7年4月1日現在) 資料:こども未来課

	保育所数	定員	入所児童数			
			3歳未満児	3歳児	4歳児以上	計
平成12年	8	570	71	145	298	514
22年	5	485	76	70	182	328
27年	5	485	71	69	138	278
令和2年	5	485	79	52	119	250
5年	5	485	59	40	105	204
6年	5	485	73	48	96	217
7年	5	485	75	44	87	206

※広域入所児童含む

治安

○交通事故件数 資料:危機管理課

	件数	負傷者数(人)	死者数(人)
平成 12 年	60	94	4
17 年	57	76	0
22 年	32	45	0
27 年	25	38	1
令和 2 年	18	22	0
5 年	16	20	0
6 年	14	21	0

○刑法犯の発生件数 資料:危機管理課

	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	その他	計
平成 12 年	1	3	241	0	3	248
17 年	0	2	160	0	31	193
22 年	0	9	91	0	19	119
27 年	0	7	53	0	12	72
令和 2 年	0	3	26	0	8	37
5 年	0	6	26	0	6	38
6 年	0	4	39	0	9	52

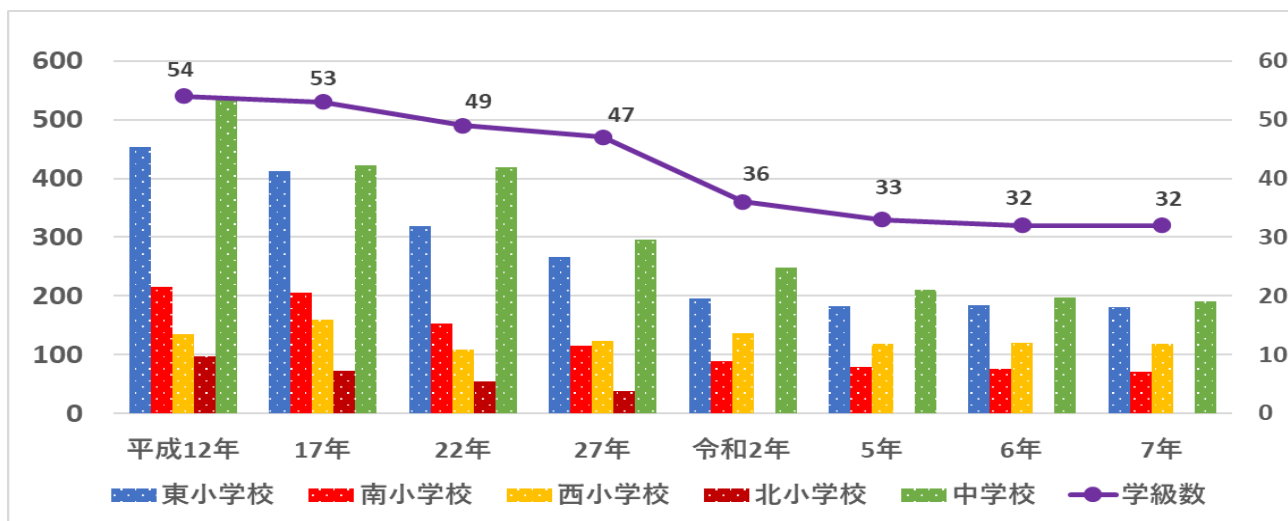
教育・文化

○学校施設の状況(令和 7 年 4 月 1 日現在) 資料:こども未来課

	東小学校	南小学校	西小学校	中学校
建物敷地(㎡)	10,650	11,916	12,530	15,695
運動場用地(㎡)	9,050	9,169	10,014	14,683
その他(㎡)	756	524	232	436
屋内運動場保有面積(㎡)	1,386	1,219	928	1,358
校舎保有面積(㎡)	6,462	3,691	3,414	6,761
建築年度	昭和 58 年	平成元年	昭和 61 年	昭和 39 年

○児童・生徒及び学級数の推移(令和 7 年 4 月 1 日現在) 資料:こども未来課

		東小学校	南小学校	西小学校	北小学校	小学校計	中学校	合計
平成 12 年	学級数	16	8	6	7	37	17	54
	児童・生徒数	454	215	135	97	901	539	1,440
17 年	学級数	16	9	7	7	39	14	53
	児童・生徒数	412	205	160	73	850	423	1,273
22 年	学級数	14	6	8	7	35	14	49
	児童・生徒数	318	153	108	54	633	419	1,052
27 年	学級数	14	8	8	6	36	11	47
	児童・生徒数	267	115	123	37	542	296	838
令和 2 年	学級数	9	8	8	—	25	11	36
	児童・生徒数	196	88	137	—	421	248	669
5 年	学級数	8	8	8	—	24	9	33
	児童・生徒数	182	79	119	—	380	210	590
6 年	学級数	8	7	8	—	23	9	32
	児童・生徒数	184	75	120	—	379	198	577
7 年	学級数	8	7	8	—	23	9	32
	児童・生徒数	181	71	119	—	371	191	562

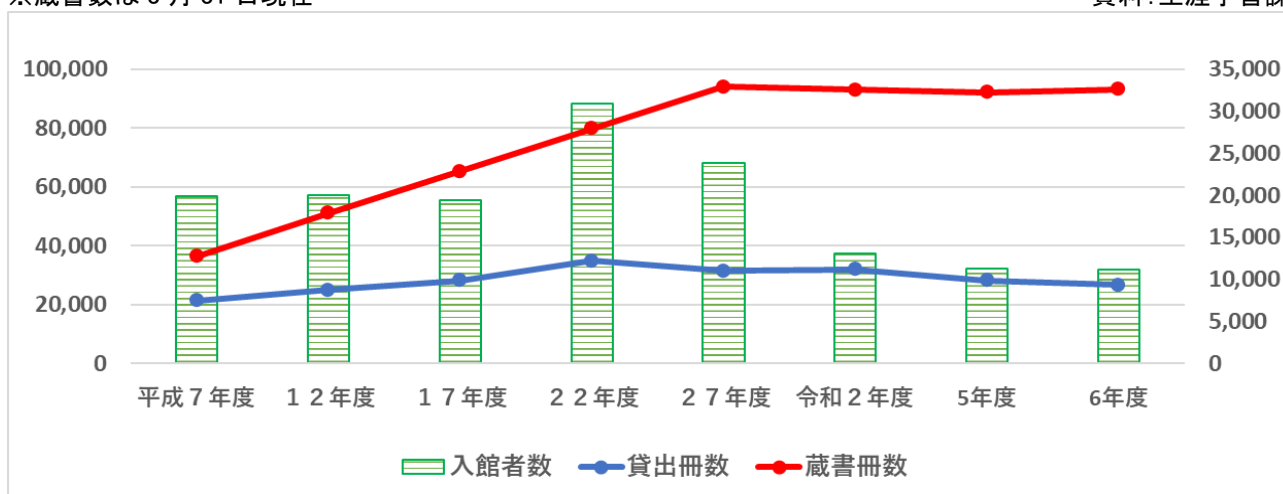


○蟻川図書館の利用状況及び蔵書冊数(令和7年3月31日現在)

	入館者数	貸出冊数	蔵書冊数	うち受入図書	うち除籍図書
平成12年度	20,035	25,076	51,167	2,740	30
17年度	19,419	28,314	65,281	3,193	360
22年度	30,965	34,942	79,845	3,478	305
27年度	23,846	31,410	94,053	3,263	424
令和2年度	13,032	32,029	93,098	2,389	1,224
5年度	11,261	28,213	92,160	1,918	1,140
6年度	11,154	26,739	93,148	1,904	916

※蔵書数は3月31日現在

資料:生涯学習課



○町営社会体育施設の利用状況 資料:生涯学習課・建設水道課

	上林テニスコート (面)	上林グラウンド (団体)	やまびこ広場 (面)	すがかわ 体育館(団体)	すがかわ グラウンド(団体)
平成12年度	793	89	329	-	-
17年度	1,132	103	425	-	-
22年度	690	78	396	-	-
27年度	730	86	389	-	-
令和2年度	105	13	148	11	6
5年度	336	45	145	13	9
6年度	387	57	147	21	5

○文化財

国指定文化財

名称・員数		指定
重要文化財	佐野神社本殿	S30.6.22
登録有形文化財	金具屋旅館斉月楼・大広間	H15.7.1
	よろづや旅館桃山風呂	H15.12.1
	湯田中駅旧駅舎	H17.2.9
	金具屋別館臨仙閣本館・浴室	H23.10.28
	横湯川堰堤、横湯川第一号堰堤、第二号堰堤、第三号堰堤、第三九号堰堤、第五〇号堰堤、第五十一号堰堤、第五七号堰堤	R3.10.14
史跡	佐野遺跡	S51.12.25
特別天然記念物	ニホンカモシカ	S30.2.15
天然記念物	渋の地獄谷噴泉	S2.4.8
	イヌワシ	S40.5.12
	ヤマネ	S50.6.26
	石の湯のゲンジボタル生息地	H20.3.28

県指定文化財

名称・員数		指定
県宝	木造阿弥陀如来坐像(興隆寺)	S44.5.15
天然記念物	宇木のエドヒガン	S42.5.22
	四十八池湿原	S48.3.12
	田ノ原湿原	S48.3.12
	ホンドオコジョ	S50.11.4
	ホンシュウモモンガ	S50.11.4
	一ノ瀬のシナノキ	H13.3.29
選択無形民俗文化財	早蕎麦	H13.3.15

町指定文化財

名称・員数		指定
有形文化財	佐久間象山の佐野の大幟	S45.6.11
	福昌寺白磁観音像	S45.6.11
	旧見王寺白磁観音像	S47.2.1
	木造金剛力士立像(善応寺)	S47.3.1
	銅造六角型灯籠(広業寺)	S49.5.3
	木造釈迦如来立像(見性寺)	S49.5.3
	寺崎広業の大幟	S57.6.8
	温泉寺文書 4 点	S57.6.8
	刀剣	S55.2.4
	木造聖観音坐像・木造十一面観音立像(温泉寺)	S58.11.11
	果亭文庫収蔵品	H5.2.2
	両頭石棒	H5.2.2
史跡	夜間瀬本郷東町古墳群	S45.6.11
	苗間部落開拓の碑	S45.6.11
	弥勒石仏	S46.5.10

町指定文化財

名称・員数		指定
史跡	夜交氏の墳墓	S47.3.1
	佐久間象山遺沢の碑	S47.3.1
	畔上様仙報恩の碑	S47.3.1
	佐山忠輝の碑	S49.5.3
	石造地藏菩薩立像	S49.5.3
	五輪塔	S51.10.30
	伊勢宮遺跡	S55.4.1
	小島氏佐野館跡	S57.6.8
	児玉果亭の頌徳碑	H3.7.17
	若狭の墓誌	H3.7.17
	横倉渠之碑	H4.3.30
	佐久間象山の沓野山祭文	H5.2.2
有形民俗文化財	煙嵐勝処	H7.8.1
	郷倉	S45.6.11
	菅の高札	S49.5.3
	市神	S49.5.3
	峠の観音	S52.2.7
	とりで街道の観音	S54.8.1
無形民俗文化財	上条神社の俳句額	H7.8.1
	土橋の神楽	S57.6.8
天然記念物	須賀川の盆じゃもの	H5.12.10
天然記念物	八柱神社の社叢	S45.6.11
	興隆時の杉並木	S45.6.11
	諏訪社のカラマツ	S46.8.3
	地獄谷のサル	S47.3.1
	ニホンリス	S49.5.3
	地獄谷のヒメギフチョウ	S49.5.3
	熊野宮のナシノキ	S49.5.3
	大日庵の源平シダレザクラ	S49.5.3
	菅のトガ	S49.5.3
	三ヶ月池湿原	S51.10.30
	アワラ湿原	S51.10.30
	稚児池湿原	S51.10.30
	乗廻の四本杉	S55.2.8
名勝	田ノ原の天然カラマツ	S55.3.22
	潤満滝	S55.3.22
	幕岩	S55.3.22
	白沢ノ滝	S58.3.20

○環境省指定

名称・員数		指定
上信越高原国立公園特別保護地区	志賀山	S44.1.10
魚野川源流部		H31.1.31

○消防職員・団員の状況(令和7年4月1日現在) 資料:消防課、岳南広域消防組合 (人)

	消防署 職員数	消防団									
		総 数	本部 (うち女性)	東部分団		南部分団		西部分団		北部分団	
				部	団員数	部	団員数	部	団員数	部	団員数
平成12年	43	353	4	7	170	5	84	3	49	1	46
17年	42	350	4	7	163	5	80	3	60	1	43
22年	40	346	4	7	164	5	76	3	60	1	42
27年	40	414	4	7	184	5	106	3	71	1	49
令和2年	40	411	13(9)	7	191	5	94	3	73	1	40
6年	39	408	29(9)	3	185	1	90	3	69	1	35
7年	39	417	28(9)	3	191	1	91	3	71	1	36

○消防施設の状況(令和7年4月1日現在) 資料:消防課、岳南広域消防組合 (台)

	消防署		消防団									
	救急車	自動車	役場部	東部分団		南部分団		西部分団		北部分団		
			積載車	自動車	積載車	自動車	積載車	自動車	積載車	自動車	積載車	
平成 12 年	3	4		2	9	1	6	1	3	1	2	
17 年	3	4		2	9	1	6	1	3	1	2	
22 年	3	4		2	9	1	6	1	3	1	2	
27 年	3	8		2	9	1	6	1	3	1	2	
令和 2 年	3	8		2	9	1	6	1	3	1	2	
6 年	3	8	1	2	9	1	5	1	3	1	2	
7 年	3	8	1	2	9	1	5	1	3	1	2	

○火災発生件数 資料:消防課、岳南広域消防組合山ノ内消防署

	総出火 件数	総損害額 (千円)	出火件数			損害額(千円)		
			建物	車両	その他	建物	車両	その他
平成7年	9	40,172	4	4	1	38,964	1,208	0
12年	5	7,727	3	0	2	7,399	0	328
17年	4	8,121	2	2	0	7,110	1,011	0
22年	4	6,010	2	1	1	4,399	1,264	347
27年	10	17,778	7	0	3	17,778	0	0
令和2年	10	1,699	3	2	5	698	996	5
5年	10	7,323	2	4	4	203	7,122	2
6年	0	0	0	0	0	0	0	0

○救急車出場件数 資料:消防課、岳南広域消防組合山ノ内消防署 (件)

	火災	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他	合計
平成7年		60	9	6	147	3	3	427	40	695
12年	3	74	5	4	274	3	9	497	57	926
17年	3	51	9	9	334	3	10	582	60	1,061
22年	4	52	9	12	289	4	9	531	42	952
27年	6	45	12	10	303	1	2	539	32	950
令和2年	4	33	12	5	281	4	7	450	19	815
5年	7	51	7	8	370	2	0	643	13	1,101
6年	5	39	9	15	340	2	5	684	14	1,113

行政

○会計ごとの決算状況

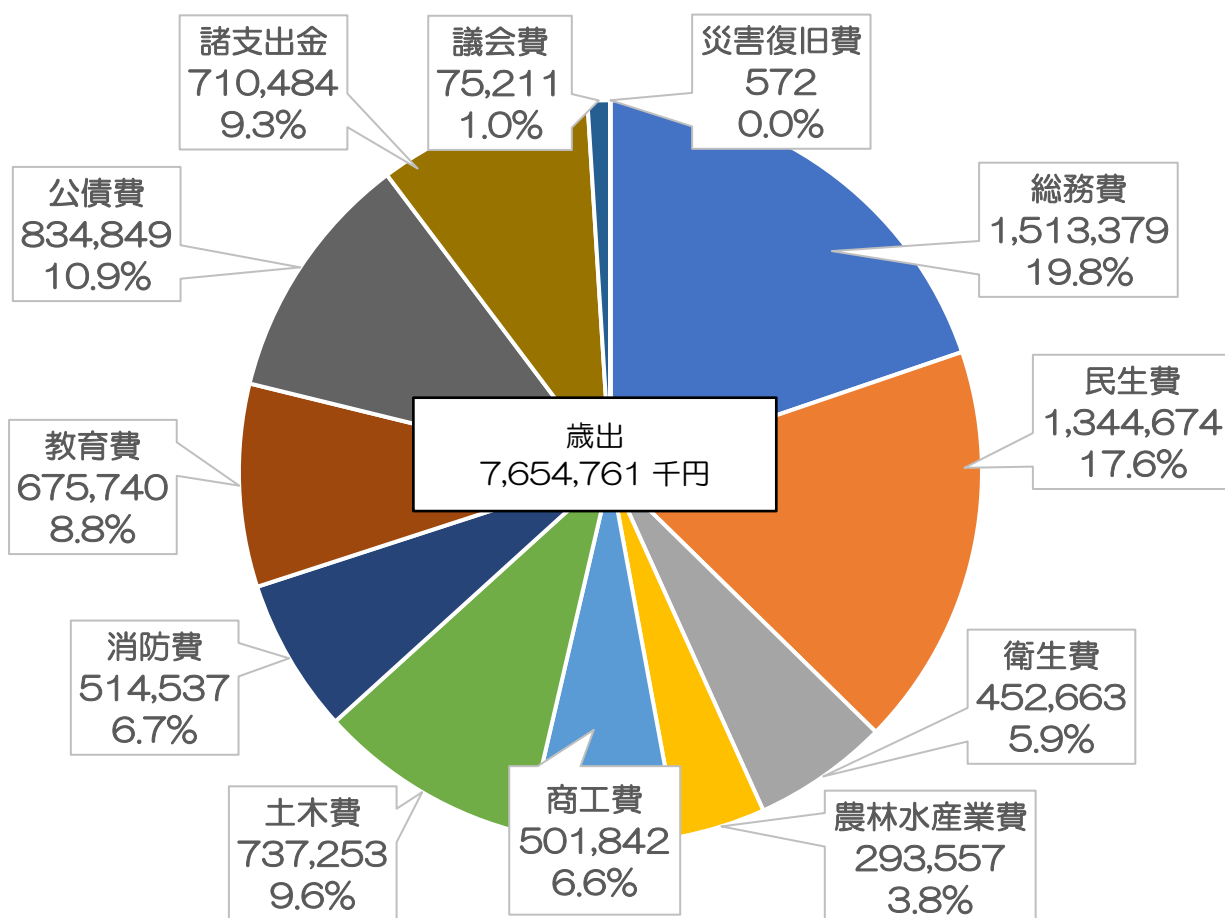
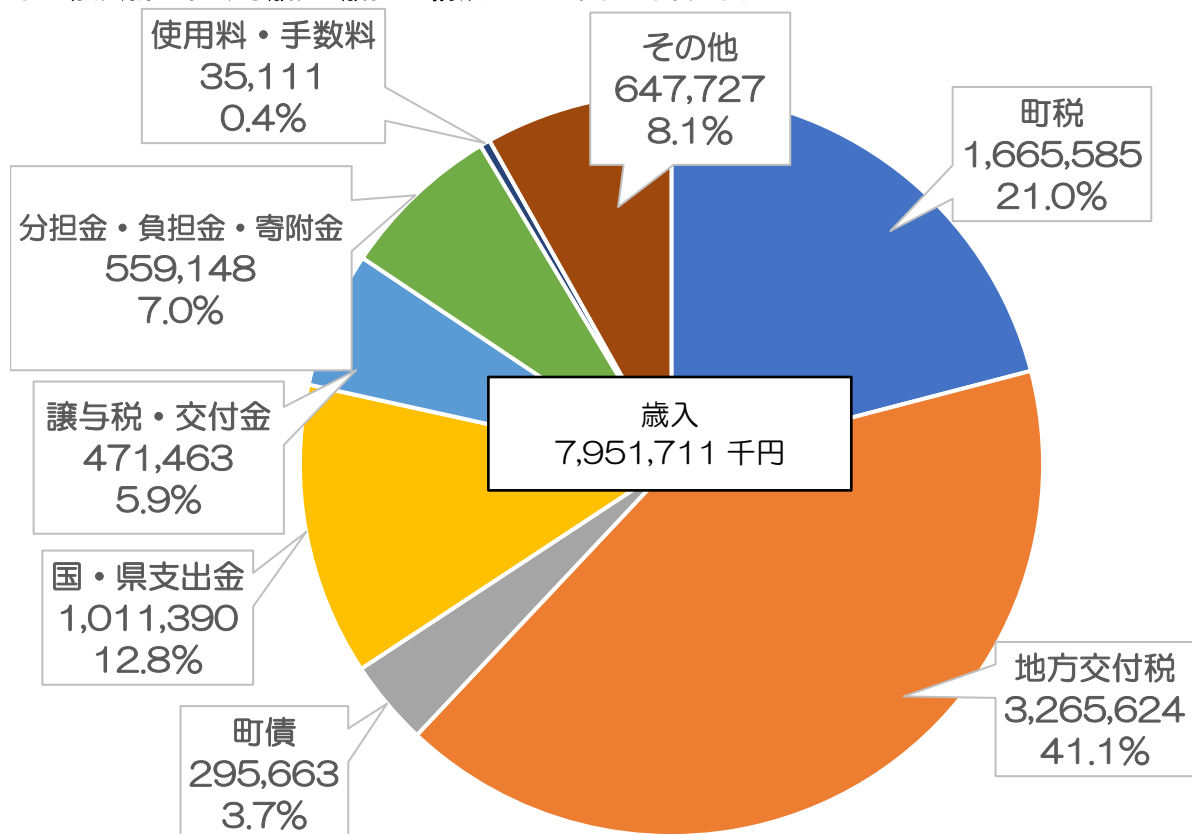
(千円)

		平成 17 年度		平成 27 年度		令和 2 年度		令和 6 年度	
		歳入 (収入)	歳出 (支出)	歳入 (収入)	歳出 (支出)	歳入 (収入)	歳出 (支出)	歳入 (収入)	歳出 (支出)
一般会計		6,923,649	6,732,862	6,801,425	6,404,878	8,906,608	8,603,739	7,951,711	7,654,761
特別会計									
有線放送電話事業		40,877	38,871	38,010	28,888	60,010	59,171		
国民健康保険 (事業勘定)		1,600,231	1,585,714	2,028,520	2,015,114	1,529,050	1,504,608	1,393,616	1,385,584
国民健康保険 (直営診療施設勘定)		385	187	94	93	100	100	123	122
老人保健医療事業		1,638,695	1,638,695						
後期高齢者医療保険				150,378	150,168	183,430	183,090	225,342	224,906
介護保険		954,979	952,702	1,592,280	1,777,314	1,777,314	1,735,891	1,897,862	1,851,797
公共下水道事業		745,980	745,084	150,378	150,168				
農業集落排水事業		824,082	823,881	1,592,280	1,570,200				
公営企業会計		平成 17 年度		平成 27 年度		令和 2 年度		令和 6 年度	
公共 下水道 事業	(収益の収支)					559,757	551,196	493,840	467,051
	(資本の収支)					60,482	187,155	18,721	128,133
農業集 落排水 事業	(収益の収支)					202,079	190,879	162,895	158,095
	(資本の収支)					26,688	66,204	35,990	67,615
水道事 業	(収益の収支)	409,624	376,338	379,870	320,035	405,931	312,909	463,250	400,285
	(資本の収支)	185,109	335,117	102,196	292,780	184,179	368,332	25,159	165,188

※公共下水道事業及び農業集落排水事業は令和2年度から公営企業会計に移行

※有線放送電話事業特別会計は令和3年度をもって清算し閉鎖

○一般会計における歳入・歳出の構成比 (令和6年度 単位:千円)



○行政機構図及び職員数

(令和7年4月1日現在)

				課長等	係長等	係員	計
				12	36	130	178
町 長	副町長	総 務 課	総務係		1	6	
			管財係	1	1	1	13
			財政係		1	2	
		未来創造課	地域創造係 (DX推進室)		1	6	
			(セ・カ・ホ)推進室	1			12
			移住国際交流係 (移住国際交流推進室)		1	3	
		危機管理課	危機管理係 (消費生活相談室)	1	1	1	3
		住民税務課	課税係		1	5	
			収納係	1	1	3	18
			住民環境係		1	6	
		健康福祉課	福祉係		1	3	
			健康づくり支援係		1	10	
			医療保険係	1	1	3	27
			介護保険係		1	1	
			介護支援係 (地域包括支援センター)		1	4	
		経済振興課	経済振興係		1	2	
			国立公園係 (125110ハワーク推進室)	1	1	2	7
		農林振興課	農業振興係 (ブランド農業推進室)		1	4	
			耕地林務係		1	3	10
		建設水道課	建設係		1	3	
			計画監理係		1	2	
			景観維持係	1	(1)	1	19
			企業会計係		1	3	
			上下水道係		1	5	
		消 防 課	消防係	(1)	(3)	(2)	(6)
		会 計 室	会計係	1	1	1	3
議 会		議会事務局	議事係	1	1		
			庶務係(兼)		(1)		2
教育委員会	教育長	こども未来課	学校教育係		1	2	
			学校給食センター		1	2	
			学校統合準備係	1	1	1	56
			保育・幼児教育係		6	40	
			こども家庭支援係		(1)	1	
		生涯学習課	文化創造推進係		1	1	
			公民館		1	1	
			スポーツ推進係 (地域スポーツ推進室)	1	1	1	8
			人権政策係 (人権政策室)		(1)	1	

※ () 内は兼任
※総職員数には派遣
分は含まない

派 遣	課長等	係長等	係員	計
岳南広域消防組合	1	4	2	7
北信広域連合		1		1
(一財)山ノ内まちづくり観光局		1	3	4
長野県			1	1

町内の主な施設

名称	所在地	電話番号 (市外局番 0269)	名称	所在地	電話番号 (市外局番 0269)
山ノ内町役場	平穩 3352-1	Tel33-3111 Fax33-4527	山ノ内町社会福祉協議会	平穩 3371-2	33-1105
文化センター (中央公民館・東部公民館)	平穩 4015-1	33-1120	つつみ住民活動センター	平穩 3252-5	33-2810
ほなみふれあいセンター (南部公民館)	佐野 795-1	33-3606	特別養護老人ホーム いで湯の里	佐野 799-2	33-5565
よませふれあいセンター (西部公民館・同和教育集会所)	夜間瀬 2511-1	33-2893	道の駅北信州やまのうち (山ノ内町情報物産館)	佐野 393-2	31-1008
すがかわふれあいセンター (北部公民館)	夜間瀬 8611-2	33-6930	湯田中駅前温泉公園 楓の湯	平穩 3227-1	33-2133
蟻川図書館	平穩 4009-1	33-1184	山ノ内町まちづくり観光局	平穩 3227-2	33-2138
志賀高原ロマン美術館	平穩 1465	33-8855	山ノ内町商工会	平穩 3246-2	33-5666
保健センター	平穩 3352-1	33-3116	志賀高原観光協会	平穩 7148(蓮池)	34-2404
地域福祉センター	平穩 3371-2	33-8411	北志賀高原観光協会		33-6000
東小学校	平穩 3110	33-3601	志賀高原総合会館98	平穩 7148-203	34-3098
南小学校	佐野 1181-1	33-3602	環境省志賀高原 管理官事務所	平穩 7148(蓮池)	34-2104
西小学校	夜間瀬 2504-1	33-3603	長野県志賀高原 自然保護センター	平穩 7148(蓮池)	34-2133
山ノ内中学校	平穩 3400-1	33-3604	信州大学 志賀自然教育園	平穩 7148(長池)	34-2607
学校給食センター	平穩 3392	33-5580	岳南広域消防組合 山ノ内消防署	平穩 4106-11	33-3119
志賀高原保育園	平穩 7148	34-2808	岳南広域消防組合 山ノ内消防署志賀高原分遣所	平穩 7148	34-3119
かえで保育園	平穩 3094-1	33-4334	中野警察署 山ノ内交番	平穩 2878-1	33-2006
ほなみ保育園	佐野 1058	33-0543	中野警察署 志賀高原駐在所	平穩 7148(蓮池)	34-2109
よませ保育園	夜間瀬 2970	33-0987	志賀高原郵便局	平穩 7148(蓮池)	34-2960
すがかわ保育園	夜間瀬 8597	33-6931	洪温泉郵便局	平穩 2282-26	33-3943
子育て支援センター ゆめっこ	平穩 2858-5	33-4778	湯田中郵便局	平穩 3216	33-2352
やまびこ広場	平穩 1065-1	090-5201-7331	夜間瀬郵便局	夜間瀬 2514-2	33-3042
屋内ゲートボール場	平穩 1088-1	090-5201-7331	須賀川郵便局	夜間瀬 8929-9	33-6857
上林グラウンド テニスコート	平穩 515	090-2210-4728	JAながの志賀高原支 所	平穩 2841-4	33-0001
すがかわ体育館	夜間瀬 8611-2	38-0373	JAながの志賀高原支 所夜間瀬店	夜間瀬 2521	33-1000
すがかわグラウンド	夜間瀬 8611-2	38-0373	教育支援センター ひだまり	平穩 3351-1	54-0549
水質浄化センター	平穩 4249-1	33-3504			
清掃事業所	戸狩 1205-1	33-2727			

○歴代町長 確認済

氏名	在職期間
合併による町長職務執行者	昭和30年4月 1日～昭和30年5月 9日
西山 平四郎	昭和30年5月10日～昭和31年6月21日
町長職務代理者	昭和31年6月21日～昭和31年8月 5日
小林 茂	昭和31年8月 5日～昭和39年8月 4日
佐藤 喜惣治	昭和39年8月 5日～昭和43年8月 4日
杵淵 茂	昭和43年8月 5日～昭和47年8月 4日
関 光司	昭和47年8月 5日～昭和59年8月 4日
友野 義平	昭和59年8月 5日～平成 7年1月20日
町長職務代理者	平成 7年1月20日～平成 7年3月 4日
中山 茂樹	平成 7年3月 5日～平成19年3月 4日
竹節 義孝	平成19年3月 5日～令和 5年3月 4日
平澤 岳	令和 5年3月 5日～

○歴代議会議長

氏名	在職期間	氏名	在職期間
西山 平四郎	S30.4.12～S30.4.30	山岸 信夫	H3.6.1～H5.5.31
山本 角三郎	S30.6.6～S36.2.27	湯本 長秀	H5.6.1～H7.5.31
内田 鶴吉	S36.2.27～S38.5.31	竹節 康正	H7.6.1～H9.5.31
佐藤 正三	S38.6.1～S40.5.31	佐藤 喜平	H9.6.1～H11.5.31
佐藤 英二	S40.6.1～S42.5.31	佐藤 富治郎	H11.6.1～H13.5.31
山上 順次	S42.6.1～S44.5.31	中山 稿一	H13.6.1～H15.5.31
宮崎 光裕	S44.6.1～S46.5.31	小島 友一	H15.6.1～H17.5.31
柴本 桂介	S46.6.1～S48.5.31	山上 政彦	H17.6.1～H19.5.31
片桐 正	S48.6.1～S50.5.31	小林 克彦	H19.6.1～H21.5.31
中山 茂樹	S50.6.2～S52.6.1	山本 一二三	H21.6.1～H23.5.31
桜井 寛	S52.6.2～S52.6.16	小淵 茂昭	H23.6.1～H25.5.31
中山 茂樹	S52.6.16～S54.5.31	児玉 信治	H25.6.1～H27.5.31
山本 昭平	S54.6.1～S56.5.31	小淵 茂昭	H27.6.1～H29.5.31
山岸 武雄	S56.6.1～S58.5.31	西 宗亮	H29.6.1～R 元.5.31
小林 基衛	S58.6.1～S60.5.31	山本 光俊	R 元.6.1～R3.5.31
小嶋 正廣	S60.6.1～S62.5.31	高山 祐一	R3.6.1～R5.5.31
山本 昭夫	S62.6.1～H 元.5.31	湯本 晴彦	R5.6.1～R7.6.2
山本 東太郎	H 元.6.1～H3.5.31	白鳥 金次	R7.6.2～

○永世名誉町民

	功績
蟻川浩雄 氏	横倉生まれの父の遺志を継ぎ、町の児童生徒の勉学、町民の学習に供する図書館の建設のため、毎年浄財を基金とし、また図書館の造園・設備費用も寄付され、郷里に文化のかおり高い人づくりの礎をつくられた。令和元年 12 月 4 日、ご逝去され 93 年の生涯を閉じられました。
小澤征爾 氏	国際的に活躍する指揮者。奥志賀高原に別荘を保有し、毎年、山ノ内中学校で「小澤征爾コンサート」を開催し、児童生徒等にオーケストラの神髄を披露。大きな感動を与えるとともに音楽文化の向上に尽力された。令和 6 年 2 月 6 日、ご逝去され 88 年の生涯を閉じられました。

○名誉町民

	功績
猪谷千春 氏	国際オリンピック委員会（IOC）名誉委員。元 IOC 副会長、理事。1956（昭和 31）第 7 回冬季オリンピック（イタリア）男子回転競技で銀メダルを獲得され、冬季五輪初の日章旗を掲げ、志賀高原の名を世界に広めた。IOC 理事として 1998 年長野冬季オリンピック招致と大会（志賀高原・アルペンスキー）成功に尽力された。

○つなぎびと

	功績
田内川 真介 氏	東京都出身。ラーメンの神様と呼ばれた山岸一雄さん（山ノ内町出身）のもとで修業し、「お前だけは、俺の味を変えるな。」と言われた唯一の弟子。 需要が増えつつあった志賀高原における夕食の場の創出に加え、「いつか故郷の皆さんにこの味を味わってほしかった。」という師匠の夢を引継ぎ、令和 2 年 12 月 1 日、志賀高原一の瀬に「山ノ内大勝軒」を開店させる。 令和 6 年に発生した能登半島地震の際には、いち早く支援物資を提供、その後も支援メニュー開発などにも取り組んでいる。 山ノ内町出身者を祖とする「丸長のれん会」の連携による町の観光 PR を行うなど、「食」を通じた山ノ内町のイメージアップに尽力している。
関 賢一 氏	山ノ内町出身。日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー長野県協議会長を務め、スポーツ選手の健康管理を行う専門職である「アスレティックトレーナー」としての活動のほか、長野県体力向上スポーツ医科学専門委員なども併任、県内市町村の保育園・小学校・中学校などで子どもたちの体力作りにも積極的に協力しており、特に町内では、町民健康相談や保育園における子どもの体力づくり講習を年間通じて行っている。 明治大学体育会スケート部アイスホッケー部アスレティックトレーナー、長野日本大学高等学校サッカー部フィジカルトレーナー、松商学園高校硬式野球部アスレティックトレーナー、第 82 回（2028 年）国民スポーツ大会長野県競技力向上対策本部 医科学専門委員を務めるなど、プロアマ問わず多彩な選手のサポートを行っているほか、町内の総合型スポーツクラブでは副理事長としてスポーツ振興に尽力している。

○観光大使

	功績
神田 正輝 氏	東京都港区出身。日本大学芸術学部卒業後、石原プロモーションに入社、「大都会」、「太陽にほえろ！」など数々の名作に出演。6 歳のとき、初めて志賀高原を訪れ、中学生になってからは冬のシーズンをほぼ毎年志賀高原で過ごしており、スキーの腕前はもちろん、地元スキー関係者とのつながりも深い。 長野冬季五輪を機に地元有志とともに「山ノ内町観光大使杯 神田正輝カップ in 志賀高原」を 1998 年から 2023 年まで開催し、志賀高原のスキー振興に精力的に活動している。
清水アキラ 氏	湯田中に生まれ、建築家になるため足利工業大学に入学したが、在学中に TBS『銀座 NOW』への出演をきっかけに芸能界デビュー。ザ・ハンダース時代には昭和 53 年「思い出の渚」が 30 万枚を越す大ヒットとなり有線放送新人賞を獲得。昭和 58 年ハンダース解散後、映画や舞台で活躍。昭和 62 年フジテレビものまね王座決定戦でチャンピオンとなり、ものまね四天王と呼ばれる。 ‘98 長野冬季オリンピック時、長野冬季スポーツ音頭を発表、その後も「清水アキラスペシャル」と銘打ち志賀高原少年スキー大会への協賛を行うなどジュニアの育成にも精力的に活動している。
CGM48 (シージーエムフォー ティエイト) MEI(ムーイ)氏 ラビィ・ハッパン・シエムジ ヤレン JJAE(ジエー・ジエー) 氏 スパー・ピッチ・シパイロー ジ PUNCH(パンチ)氏 ワッチャリー・ダーンパー スックン LATIN(ラティン) 氏 ピムナーラー・ラムルア イマンコン	CGM48はタイ・チェンマイを拠点に活動する AKB48グループのひとつで、海外に拠点を置く48グループでは8グループ目のグループであり、BNK48(タイ・バンコク拠点)の姉妹グループとして、2019 年に活動を開始している。 町の魅力ある情報を世界に広く発信し、インバウンド誘客に結び付けるため広報・プロモーションに積極的に活動している。

志賀高原ユネスコエコパーク

○ユネスコエコパークとは

「ユネスコエコパーク(生物圏保存地域)」とは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会の共生)を目的として、1976年にユネスコ(国連教育科学文化機関)が開始した認定制度で、ユネスコの自然科学セクターで実施されるユネスコ人間と生物圏(MAB: Man and the Biosphere)計画の一事業として実施されています。

現在、世界では134か国、738地域、日本では10地域(志賀高原、白山、大台ヶ原・大峯山・大杉谷、屋久島・口永良部島、綾、只見、南アルプス、祖母・傾・大崩、みなかみ、甲武信)が登録されています。(2022年6月現在)

○志賀高原ユネスコエコパークについて

志賀高原ユネスコエコパークは、山ノ内町の他、長野県高山村、群馬県中之条町、草津町、嬬恋村にまたがる約30,000haのエリアに、「核心地域・緩衝地域・移行地域」の3つの地域を定め、構成されています。

核心地域は、このエリアの自然環境を世界全体の財産として厳格に保護することを目的としており、志賀山を中心とした大沼池や四十八池を含む約700haが指定されています。国立公園の特別保護地区と同一の範囲であり、自然公園法などにより保護されています。

緩衝地域は、核心地域を保護する役割と自然環境の活用を両立する地域として、山ノ内町の他、高山村、群馬県中之条町、草津町、嬬恋村の一部にまたがる約17,600haが指定されています。国立公園の特別地域、普通地域に指定される範囲と重なり、環境の保全を優先しながら、ESDや林間学校などの環境学習、エコツアーなどの観光やレジャーにも利用されています。

移行地域は、地域住民の生活の場、地域発展のための様々な社会・経済活動の場として、山ノ内町と高山村に設定され、環境にやさしい農業の推進や自然エネルギーの環境対策、伝統文化の保護継承など自然と共存した活動を通じて、文化的、経済・社会的にも持続可能な地域づくりを推進しています。

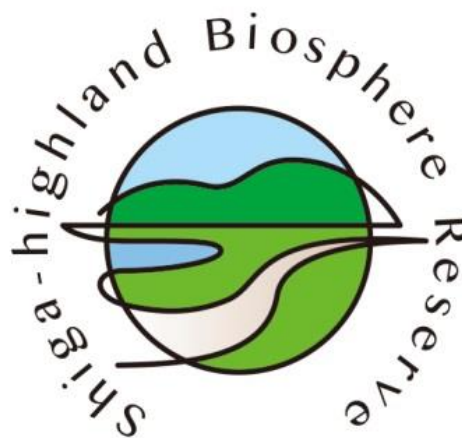
○志賀高原ユネスコエコパークの概要

[登録] 1980年(昭和55年)

[拡張登録] 2014年(平成26年)

[関係自治体] 長野県: 山ノ内町、高山村、群馬県: 中之条町、草津町、嬬恋村

[志賀高原ユネスコエコパークにおけるゾーニング図]



[志賀高原ユネスコエコパークオリジナルロゴマーク]
核心地域である志賀山、四十八池、
遊歩道(木道)の風景をデザイン

○志賀高原ユネスコエコパークの特徴

[自然環境]

志賀高原はフォッサ・マグナ上に位置し、志賀山、草津白根山など複数の火山が密集した火山帯の外壁に囲まれた大きなすり鉢状の内側に位置する高原で、大小70余りもの池沼や湿原が多数存在する複数水系の水源地帯となっています。標高の概ね1,600m以下の地域ではブナやミズナラなどの温帯の落葉広葉樹林、1,600m以上の地域で

はコメツガやオオシラビソなどの亜高山帯の針葉樹林が生育し、森林内には湿原が散在するなか湿原特有の植物も生育しています。また亜高山帯の針葉樹林の一部には原生林も残されています。

こうした植生は、多様な動物種の生育にも影響を与え、ニホンザルやヤマネ、オコジョなどの希少動物や、イヌワシやヒガラ、ルリビタキなどの鳥類も生息しています。

[伝統的共有地と資源管理]

緩衝地域及び移行地域の山林の一部は、地元集落の伝統的な共有地であり、集落の入会慣行により中世以前から樹木や山菜などの資源を採り尽くさないよう共同で管理し、現在も山菜などの自然の資源を絶やすことなく持続的に利活用しています。また、河川の漁業権は地元住民による漁業協同組合にあり、雑魚川に生息するイワナ在来個体群は漁協の管理により適正な資源利用がされています。

こうした地元住民団体による共同管理は、外部大型資本の参入や水利権の乱用を防ぎ、志賀高原ユネスコエコパークの山を守る役割を果たしています。

[豊かな自然環境・資源・文化を活用した地域振興]

近年、環境問題がクローズアップされていることなどから、環境学習プログラムの拡充や学習環境の整備を進めるとともに、指導者の育成を図るなど環境学習の推進に努めています。また、ユネスコエコパークを活用したエコツーリズムの推進とともに、学ぶ・体験する・健康増進など、見る以外の付加価値を持たせた旅行商品、また農業とも連携した旅行商品の開発などに取り組んでいます。さらには、自然環境への負荷を極力少なくする取り組みを推進し、環境にやさしいイメージを町に定着させながら、自然との共存を意識した滞在を楽しむことができる観光地づくりに努めています。

友好提携都市

○中国北京市密雲区

平成 12 年、長野県日中友好協会から同区との交流を勧められたことをきっかけに、相互に訪問を行いながら友好関係を深め、平成 19 年 4 月 27 日に友好都市提携を結びました。毎年相互に書籍の交換を実施しています。

今後の友好交流については、観光や農業などの経済面、子どもたちやスポーツなどによる教育文化面での交流が期待されます。

[密雲区の概要]

密雲区は、中華人民共和国の首都北京市の東北 65km に位置し、人口約 43 万人、工業・農業・観光が盛んな地域です。北京空港から京承高速道路で約 1 時間という立地から、近年は首都のベッドタウンとしても栄えています。また、首都の重要な飲料水源である「密雲ダム」や、世界遺産に登録されている万里の長城のひとつ「司馬台長城」でもよく知られています。

○アメリカ合衆国 コロラド州 ベイル町

平成 28 年 8 月阿部長野県知事のコロラド州訪問を契機に県が仲介をし、平成 29 年 7 月に町長をはじめとする訪問団がベイル町を訪問するなど、友好提携へ向けて交流を行ってきました。そして平成 30 年 1 月にベイルから訪問団が視察及び友好提携のため来町され、最終日の平成 30 年 1 月 25 日に長野県庁において知事立会いのもと、国際友好交流協定を締結しました。

今後、主に教育・文化・観光・環境の分野について交流・相互協力が期待されます。

[ベイル町の概要]

ベイル町はアメリカ合衆国コロラド州イーグル郡に属し、デンバー国際空港より西に約 160km、州都デンバーからは車で 2 時間程度の距離にある観光が盛んな町です。人口約 5300 人、面積は 11.7 平方 km で、町内のベイルスキーマは北米最大級の規模を誇り、過去 3 回、アルペンスキー世界選手権が開催されています。

○フランス共和国 オート・サヴォワ県 サン・ジェルヴェ・レ・バン市

スキーや温泉を通じた欧州の自治体との交流を模索していたところ、在リヨン領事事務所の仲介により、特徴や課題が似ている同市につながりました。令和6年4月に町長・議長が同市を訪問し、友好と相互協力に関する了解覚書(MoU)に署名した後、交流の展望について調整を重ねた結果、令和7年1月に同市の市長を代表とする訪問団が来町され、1月8日に友好と相互協力に関する協定を締結しました。

[サン・ジェルヴェ・レ・バン市の概要]

サン・ジェルヴェはフランスの東部、オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州オート・サヴォワ県に属し、ヨーロッパアルプス最高峰のモン・ブランの麓に位置する人口約5,700人のコミューンです。フランスで3番目に大きなスキーリゾートがあり、麓にはモン・ブランを源泉とする温泉施設があります。

災害時における相互応援自治体

○東京都足立区

昭和18年から昭和20年の戦争末期に、足立区より当町へ約1800名の学童が疎開されました。その後、学童疎開をした人たちが中心となって交流活動が始まり、昭和57年10月1日友好自治体提携が結ばれ、現在は、行政上の交流だけでなく、民間団体による交流も盛んになり、山ノ内町友好交流協会に加入する会員・団体が自主的に交流を行っています。

また、平成8年7月1日に「災害時における相互援助に関する協定」を締結しています。

○群馬県玉村町

平成14年に玉村中学校の宿泊先であった志賀高原のホテル関係者を通じて、町農業関係者が農業体験を個別に受け入れをしたことがきっかけで、その後毎年同中学校の生徒が農業体験学習に訪れるようになり、玉村町が町制50周年を迎えるにあたり友好交流都市提携を求められ平成19年8月1日に提携を結びました。

今後友好を深め、観光や農業などの経済面をはじめ、教育文化面での交流など幅広い交流が期待されます。

平成26年5月26日に「災害時における相互応援に関する協定」を締結しています。

○新潟県柏崎市

平成25年5月2日に「災害時における相互応援に関する協定」を締結しています。

○埼玉県熊谷市

平成27年7月29日に「災害時における相互応援に関する協定」を締結しています。

○群馬県草津町

平成27年8月11日に「災害時における相互応援及び観光支援に関する協定」を締結しています。

○埼玉県行田市

平成30年12月13日に「災害時における相互応援に関する協定」を締結しています。

○北海道美唄市

それぞれの特性を生かしながら、双方の連携による取組を推進し、相互の発展を目指すことにより、広く地域経済及び地域づくりの活性化に寄与することを目的し、令和6年3月22日に「パートナー協定」を締結しました。

協定による連携事項には、災害等が発生した際の応援に関することも含まれています。

山ノ内町町民憲章

(昭和50年4月1日制定)

わたくしたちは、雄大な志賀の山なみにかこまれて生きる
山ノ内町の町民です。

より美しく豊かな住みよい町にするためにこの憲章を定め、
心のかてとして、くらしのよりどころとします。

- 1 自然を愛し、水と緑の美しい町にしましょう。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあい明るい町をつくりましょう。
- 1 元気でほたけ、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 教養をふかめ、かおり高い文化の町をつくりましょう。

町花
りんご



うっすらと紅がさした小さな花卉
のりんごの花は、春に咲く代表的な
花です。斜面を染めるそのみごとに
美しさはこの町を象徴しています。

町鳥
うぐいす

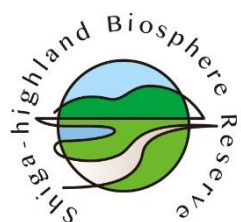


春になると雪の消えた山里に再び
にぎわいが戻ってきます。そんなと
き、透き通った大気にこだまするの
はうぐいすの鳴き声。それは水と緑
の町の象徴です。

町木
つが



つがは亜高山帯を代表する針葉
樹。夏は日の光を一面に浴び、冬
は風雪の重さに耐えて力強く立つ
美しい勇壮なその姿は、この町の
人々の象徴です。



発行日：令和7年8月

編集：長野県下高井郡山ノ内町大字平穏 3352-1

山ノ内町役場未来創造課 電話 0269(33)3113